

各位

会社名 株式会社 L is B

代表者名 代表取締役社長 CEO 横井太輔

(証券コード:145A 東証グロース市場)

問合せ先 取締役 CFO コーポレート本部長 北嶋正樹

(e-mail: ir@l-is-b.com)

# IU BIM STUDIO 株式会社の株式取得(子会社化) および資金借入に関するお知らせ

株式会社 L is B (本社:東京都千代田区、代表取締役社長 CEO:横井太輔)は、2025 年 10 月 22 日の取締役会において、IU BIM STUDIO 株式会社の株式取得により当社の子会社とすること、および当該株式取得のための資金を借り入れることについて決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 1. 株式の取得の理由

当社は、「アイデアとテクノロジーで人々を笑顔にする!」をミッションとし、徹底した顧客志向のもと主に「現場」を持つ顧客の業務課題を DX によって解決するため、「direct」をはじめとしたサービスを SaaS と呼ばれる形態で提供しています。当社は、顧客課題を解像度高く把握し、サービス開発に速やかに反映することを強みとしており、「direct」の導入企業は 5,500 社を突破いたしました。また、オーダーメイドのシステム開発を伴う DX コンサルティングも提供しております。

IU BIM STUDIO 株式会社は、BIM (ビルディング・インフォメーション・モデリング) に関する高度な専門性を有し、BIM モデル作成、ツール開発、コンサルティング等をワンストップで提供する「BIM ソリューションプロバイダー」です。特に、スーパーゼネコンとの豊富な取引実績や、独自の教育カリキュラムによる BIM 専門人材の育成ノウハウに高い競争優位性を持つ会社であります。

建設業界においては、国土交通省の推進する方針により 2023 年度から公共事業において BIM/CIM が原則適用されるなど、BIM 市場の急速な拡大が確実視されており、当社顧客からも BIM 導入・活用に関する相談が増加しております。

IU BIM STUDIO 株式会社をグループ会社に迎えることで、当社グループの注力領域である 現場 DX ソリューションの提供範囲を大きく拡充いたします。当社グループがこれまで強み としてきた「現場のコミュニケーション DX」に加え、建設プロセスの上流である「設計・計画」領域までカバーし、BIM が取り扱うデータをも対象とした DX ソリューションの提供 が可能になります。

また、両社の顧客基盤に対するクロスセルの推進、対象会社の業界知見と当社の AI 技術・

開発力を融合させた新たなソリューション創出、さらに当社の採用力と対象会社の育成ノウハウを組み合わせた専門人材の安定的確保により、当社グループの一層の収益力向上および競争力強化に資すると判断した結果、株式取得を行うことといたしました。

## 2. 異動する子会社 (IU BIM STUDIO 株式会社) の概要

(1)	名称	IU BIM STUDIO 株式会		<b>大会社</b>	
(2)	所在地	大阪府大阪市西区京町堀1丁目8-35			
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 出上 雅之			
(4)	事業内容	BIM ソリューション事業			
(5)	資本金	20 百万円			
(6)	設立年月日	2016年11月11日			
(7)	大株主及び持株比率	出上 雅之 100%			
	上場会社と当該会社 との間の関係	資本関係	該当事項はありません		
(8)		人的関係	(的関係 該当事項はありません		
		取引関係 該当事項はありません			
(9)	(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態				
決算期		2022年10	期	2023年10期	2024年10期
純資産		41	百万円	49 百万円	76 百万円
総資産		102	百万円	155 百万円	180 百万円
1株当たり純資産		20,652 円	39 銭	24,941 円 99 銭	38,325 円 62 銭
売上高		272	百万円	346 百万円	394 百万円
営業利益		20	百万円	10 百万円	35 百万円
経常利益		20	百万円	9百万円	36 百万円
当期純利益		14	百万円	8百万円	26 百万円
1株当たり当期純利益		7,493 ⊞	61 銭	4,289円60銭	13,383 円 63 銭
1株当たり配当金			_	_	_

(注 1) IU BIM STUDIO 株式会社は、BIM 市場の急速な拡大やスーパーゼネコンとの豊富な取引実績等を背景に堅調に業績を拡大しており、当社グループイン後も大幅な増益を計画しております。なお、当該計画は現時点における見通しに基づくものであり、当社グループとのシナジーの創出状況や今後の事業環境の変化等により変動する可能性があります。

### 3. 株式取得の相手先の概要

(1)	名称	出上 雅之		
(2)	住所	兵庫県西宮市		
(3)	上場会社と	資本関係、人的関係、取引関係、関連当事者への該当状況につい		
(3)	当該個人の関係	て、該当事項はありません。		

# 4. 取得株式数,取得価額及び取得前後の所有株式の状況

	(1)	異動前の所有株式数	0株(議決権の数:0個、議決権所有割合:0%)	
	(2)	取得株式数	2,000 株	
			(議決権の数:2,000 個)	
	(3)	取得価額	IU BIM STUDIO 株式会社の普通株式	550 百万円
(3)	以行Ш假	アドバイザリー費用等 (概算額)	32 百万円	

		合計 (概算額)	582 百万円
(4)	異動後の所有株式数	2,000株(議決権の数:2,000個、	議決権所有割合:100%)

(注 1) 当該取得価額に加えて、業績の達成度合いに応じて条件付取得対価(以下、アーンアウト対価)を IU BIM STUDIO 株式会社の現株式所有者に支払う条項を締結する予定です。アーンアウト対価は、現株式所有者に追加的に支払われる対価であり、IU BIM STUDIO 株式会社の 2026 年 10月期における業績の達成度合いに応じて、最大50 百万円の支払いが行われます。このアーンアウト対価の導入により、本件買収に伴う当社のリスクを軽減することができます。

### 5. 日 程

(1)	契約締結日	2025年10月22日 (予定)
(2)	株式譲渡実行日	2025年10月31日 (予定)

### 6. 資金の借入

(1) 借入の理由

対象会社の株式取得を目的に、金融機関から必要な資金の借入を行うものです。

### (2) 借入の概要

(1)	借入先	株式会社みずほ銀行
(2)	借入金総額	550 百万円
(3)	借入金利	Tibor + スプレッド
(4)	借入実行日	2025年10月31日 (予定)
(5)	返済方法	元金均等返済
(6)	返済期限	7年
(7)	担保の有無	なし

### 7. 今後の見通し

本件が予定通り実行された場合、当社の連結財務諸表上、正ののれんが発生する見込みでありますが、のれんの金額及び会計処理等につきましては、現時点では確定しておりません。なお、2025 年 12 月期第4四半期における連結決算においては、IU BIM STUDIO 株式会社は貸借対照表のみを連結対象とする予定であり、損益計算書の連結は、2026年12月期第1四半期からを予定しております。

よって、2025 年 12 月期業績予想については、従来の業績予想の数値を踏襲いたします。2026 年 12 月期以降は、本件を連結対象に加えた業績予想の開示を予定しております。

本件に関して今後公表すべき事項が生じた場合は、速やかにお知らせいたします。